

手作りクレヨン工房 Tuna-Kai

お問合せ

tel 090-4736-4789

e-mail : tuna-kai@aqua.plala.or.jp

HP : <https://www.tuna-kai.com>



単なる「絵を描く道具」ではない「クレヨン」



クレヨンおまかせ
4本セット

クレヨン丸箱
8本セット



ドングリ
の絵の具

クルミ
の絵の具



クルミインク

【事業内容】

自然の草木や土、貝殻などから色を頂いて、ひとつひとつ手作りで作っているクレヨンと絵の具です。あえて、人工的に色を足さず、「道具として使いやすい画材」ではない画材を作り続けています。



会社概要

所在地：〒088-2464

北海道川上郡標茶町字虹別原野 704-3

設立：2011年9月

代表者：伊藤 朋子

従業員：1名

業種：クレヨン、固形水性絵の具、クルミインク
植物顔料、その他雑貨商品

担当者：伊藤 朋子

Tuna-Kaiのマークに込めた願い



Tuna-Kai (トナカイ) はアイヌ語です。文字を持たないアイヌの方々の発音で Tuna (テウナ：モノを運ぶ) Kai (カイ：家畜) という意味です。

息子が4歳の時に「クリスマスの絵を描いて」と伝えたら、描いてくれた絵です。サンタでもクリスマスツリーでもなく、トナカイ。

それは、主役ではないけれど世界中にプレゼントを届けるためには絶対に必要。

Tuna-Kai は、世界中の人たちに笑顔になってもらいたい。プレゼントをもらった時のように純粋に心の底から笑顔になってもらいたい。笑顔をプレゼントするために、Tuna-Kai としてこれからも作り続けていきたいと思っています。

PRコメント

伊藤 朋子 (代表)



化学物質過敏症の小さな男の子との出会いから、化学的な成分を一切含まないクレヨンを作ってあげようという事から始まったクレヨンです。開発に10年もかかってしまい、その子には出会えないままですが、自然の色を楽しみたい方が増えています。

そんなクレヨンがお客様の笑顔を沢山運んでくれるこの仕事がとても楽しく、3年前から息子も製作に加わり、更にインクなど沢山の新品を開発することも出来、毎日楽しく過ごしています。

自然から色を頂く仕事。
ポタ、ポタ、と色が
生まれる音が
工房に響きます

心が癒される色も、色の薄い個性的な色も、ここにはあります。優しく厳しい自然から色を少し分けていただきました。自然からの色の贈りものを、楽しんでいただければ幸いです。



自然から頂いた色は、森から
見つけた小さな入れ物に
入れていきます

森の中からクルミの実、ドンダリの帽子を拾い集めてそれに入れていきます。自然の色は自然の入れ物が似合います。

クレヨンにはミツバチが作ってくれた蜜蝋を混ぜています



当店のおすすめ商品



JR北海道が冬季に釧路標茶間を運行するSL冬の湿原号のススを用いた「SL冬の湿原号のススクレヨン」を2022年の夏から販売開始しました。2022年の冬の湿原号の運行は、試運転で故障したため試運転時のススしか手に入らずとても貴重です。この貴重なススを1年半JR北海道に交渉し、やっと手に入れることが出来、長い間夢に見たススクレヨンが出来上がりました。パッケージは大人用子供用の2種類で、子供用はパッケージの中の線路をSLに見立てたクレヨンが動く仕掛けとなっています。

他にも、市販のインクは化学染料で出来ている中、虹別のクルミから天然素材のみのインクを作ることに成功し2022年秋から販売しています。全国にはインクファンが沢山いて、すでに多くのインクファンに注目されている商品です。

また、牛の糞から作った「牛のウンチクレヨン」、ヒグマが食べる植物から作った「ヒグマのごはんクレヨン」なども製作しています。



(連絡)

現在息子と二人で製作をしています。

店舗は虹別と富良野ニングルテラスに構えていますが、虹別店は2023年町内の塘路地区に移転予定です。また、富良野店は2023年3月までとなります。